

沿革

昭和37. 9.1	河内市立河内中学校分教場となり、第1学年だけの5学級編成
昭和38. 4.1	河内市立至高中学校を創立、花園・若江両小学校区を校区とし、第1・2学年だけ13学級編成 ※校名原拠：至大至高の域に入れば聖人も知の及ばない妙処にあるが、これは中庸の道に通ずる故に、君子が中庸の大所高所を説けば、宇宙の何物もこれを包容できる大きさのものはない。また、それが小を説いて、微を穿ったならば、天才の何物も分析し、能わぬほど細密なものに及ぶ。
昭和39. 4.1	1・2・3年全学年揃い、19学級編成
昭和42. 2.1	三市合併により東大阪市立至高中学校と改称する。
昭和42. 4.2	東大阪市立花園中学校と改称する。
昭和54. 4.1	東大阪市立若江中学校（若江小、玉美小校区）の新設により、本年度以降は花園小、玉串小学校区をもって校区とする。
昭和56.12月	北校舎1Fより東校舎2Fに、職員室、事務室、校長室移転。
昭和58. 3.31	プレハブ全教室撤去。
昭和60. 8月	プール完成し、プール開きをする。
平成4. 5月	トイレ水洗化完成
平成5. 5.8	創立30周年記念式典が行われる。
平成8. 2月	新体育館完成。
平成10. 11月	図書室、カウンセリング室新設工事。
平成14. 2月	調理室、被服室、理科室改修工事。
平成21. 8月	東門ドアオートロック工事。
平成24. 11月	創立50周年式典を行う。
令和3. 3月	東館1階北側スロープ設置。
令和4. 4月	中学校給食開始。